

杉浦 敏議員



少しの補助で地域を活性化 住宅リフォーム助成実施を

問

住宅リフォーム助成は、
全国157自治体が実施してい
る。

蒲郡市では市内業者に発
注すれば工事費の1割、限
度額20万円が助成され、(制
度開始後)1カ月間の総助
成金661万円に対し、事業費
は1億587万円だった。

少ない投資でこれだけの
お金が地元で動く。助成を
進めてほしいがどうか。

**市独自では考え
ていない**

答
都市計画課長

国の具体策や予算が示さ
れていない。今後、国、県、
周辺市町の動向を見極めた
上で検討したい。現在、市
独自では考えていない。

問

バス東部ルート 一方通行改善を

「ミニユーティバス【＝関
連記事15面】」を聞く。

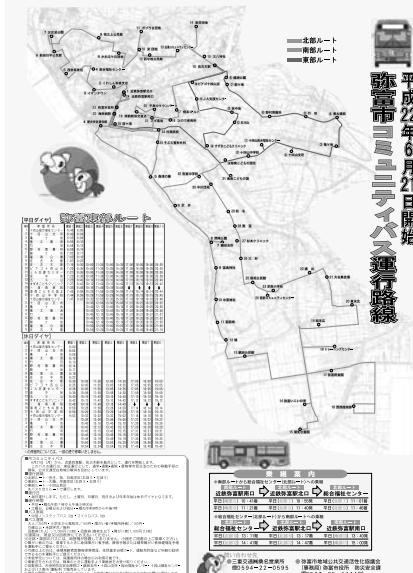
22年6月から運行した公共
バス。従来の市バスと比べ
①運賃有料化(＝無料→大人200円
②年中運行、早朝・夜間便設定等
を導入し、路線バス色を強めた。
国の補助が得られる3年間の実
証運行中で、バス業務は三重交通
株式会社に委託している。

(1) 22年9月に行われたア
ンケート結果内容
(2) 東部ルートの一方通行
を改善すべきではないか。
(3) 主要路線で総合福祉セ
ンターへ直接行けるよう、
南北分断を解消すべきでは
ないか。
(4) 廃止されたバス停を可
能な限り復活すべきでは
ないか。

左右交互運行を 考えたい

■乗降調査(調査時期22年9～10月
中の4週間)等の要旨

①乗車人員は7～10月の対前年
比11%減②日曜・祝日利用が最も少
なく、次いで月・土曜日の利用が少
ない③東部ルートの利用が少
ない④夜間利用者が少ない⑤利用者の多い
バス停は近鉄弥富・佐古木駅、総合
福祉センター、イオンタウン



答
防災安全課長

(1) 以下要約

■住民アンケート結果要旨 (2千
人中回答率49%)

①認知度88%②回答者の8%が
バス利用者③利用しない理由1位

「便数が少ない」④サービス程度の
最多回答「運行時間、便数が悪い」

⑤総合的満足度5点中3点⑥主な
今後の要望「便数の増便」「ルート
改正」

■企業アンケート結果要旨(調査
時期22年10月・127社中回答率39%)

①80%以上が自家用車通勤②今後
の利用率は82%が「考えていない」、
6社が「取り組む」③主な利用しな
い理由は「ダイヤが合わない」「バ
ス停が遠い」「時間がかかり過ぎる」

(4) アンケート結果の利用
しない理由の中で「移動に
時間がかかり過ぎる」との
回答が上位を占めている。
特別な理由がない限り、
ルート変更を伴う復活・新
設は慎重に考えていくた
い。

ルート変更を伴う復活・新
設は慎重に考えていくた
い。